

記者発表資料

平成25年8月2日
九州地方整備局
延岡河川国道事務所

平成24年 五ヶ瀬川の水質現況

今回、全国及び九州地方における一級河川の直轄管理区間について、平成24年の水質現況が発表されました。

- ◎平成24年の五ヶ瀬川水系においては、BODは調査地点の5地点すべてにおいて環境基準を満足しており、良好な水質を維持しております。
- ◎平成24年の九州において、川辺川（熊本県）に次いで※₁水質が良好な河川※₂となっておりますが、五ヶ瀬川の水質は、昨年値との大差はありません。
- ◎一方、「泳ぎたいと思うきれいな川」※₃は、九州で6地点あり、そのうち2地点は五ヶ瀬川水系で以下のとおりです。
 - ・永代橋（五ヶ瀬川水系小川／延岡市）
 - ・桑平橋（五ヶ瀬川水系祝子川／延岡市）
- ◎今後、良好な水質を維持するためには、工場排水や家庭雑排水等の水路への直接排水の軽減（公共下水道への接続や合併浄化槽の設置）などの取組みや水質事故の防止等、事業所や住民等の皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- ※₁ 平成24年 九州地方一級河川の水質現況（平成25年8月2日九州地方整備局発表）を基に当事務所での集計によるものです。
- ※₂ 全国では、川辺川をはじめ9河川が「水質が最も良好な河川」として、公表されています。
- ※₃ ゴミの量や水のおいなど、人と河川のふれあいに関する指標を用い、河川に近づきやすい地点において、住民との協働により調査を実施した結果です。

◆BODとは

BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水中の有機物を栄養源として、微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量で、20℃5日間で消費される溶存酸素量を標準としています。水質汚濁を示す代表的な指標で、水質関係の各種法令で規制項目として採用されています。

【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所 技術副所長 あらき 荒木 かずゆき 和幸
調査第一課長 さかもと 坂本 まさみ 正己
〒882-0803 宮崎県延岡市大貴町1丁目2889番地
電話：0982-31-1155（代） 0982-31-1191（調査第一課直通）

★同時発表 国土交通本省（水管理・国土保全局 河川環境課）
北海道開発局及び各地方整備局 各河川関係事務所

平成24年 五ヶ瀬川水系の水質現況

1. 水質調査地点

- 五ヶ瀬川水系では、五ヶ瀬川で2地点（三輪、松山橋）、大瀬川で1地点（大瀬橋）、祝子川で1地点（中州合流点）、北川で1地点（白石）の5地点で月1回水質測定を実施しています。

2. 生活環境項目の保全に関する水質現況

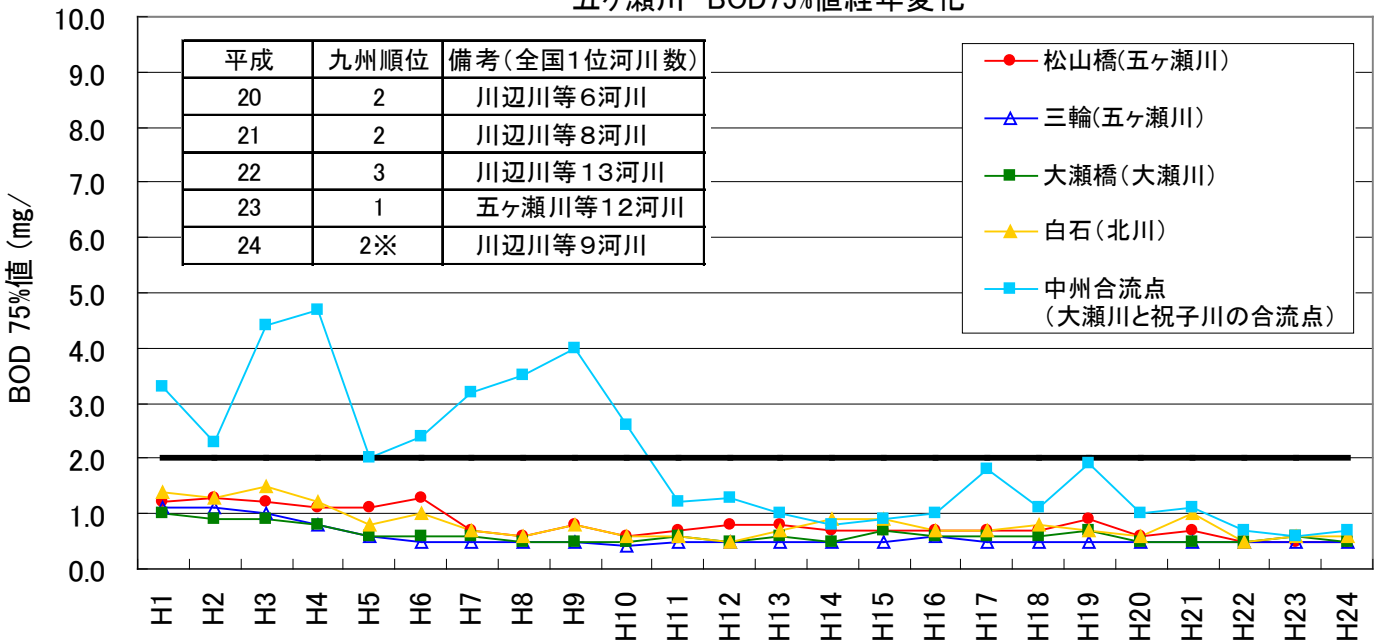
- 水質汚濁に係る環境について、「生活環境の保全に関する基準」のうち、一般的に河川の水質を表すBOD（生物化学的酸素要求量）で示すと次のとおりです。
- 河川の水質は、下図のとおり、平成6年から経年的に見ると穏やかな改善傾向にあり、近年の値を見ても良好な水質状態を保っています。
- 環境基準値（75%値）を満足した地点は、5地点中5地点（全地点）です。

平成24年 水質現況

(mg/l)

	三輪	松山橋	大瀬橋	中州合流点	白石	環境基準値
BOD75%	<0.5	0.5	<0.5	0.7	0.6	A類型2.0以下
BOD平均値	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	

五ヶ瀬川 BOD75%値経年変化



※全国・九州順位について、15～23年は九州地方整備局公表、24年は当事務所にて集計したもの。

※河川における類型毎の環境基準値（BOD75%値）

AA 類型：1mg/l, A 類型：2mg/l, B 類型：3mg/l, C 類型：5mg/l, D 類型：8mg/l, E 類型：10mg/l

※BODにおける環境基準の達成状況

BODについては測定年のデータの75%以上が基準値以下である場合、環境基準を達成していると評価しています。例えば、月1回の測定の場合、12個のデータのうち水質の良い方から9番目の値が75%値となります。この値が基準値以下である場合、当該測定地点において環境基準を達成しているとみなします。

3. 水生生物調査

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、小中学校の参加を得て、昭和60年度から水生生物による簡易な水質調査を実施しています。

平成24年は、4地点（五ヶ瀬川（三輪）、大瀬川（大瀬橋上流）、北川（小川・永代橋）、祝子川（桑平橋）を対象に約80名の小学生の参加を得て、調査を実施しました。

調査結果において、カワゲラ、ナガレトビケラ、ヒラタカゲロウ等が出現した生物であり、全地点で「きれいな水」と判定されました。

4. 新しい水質指標による住民との協働調査を実施

河川の水質管理指標は、住民にわかりやすいものである必要があります。

このため、平成17年より河川の水質を有機性汚濁指標（BOD等）による評価だけでなく、「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」といった住民の視点に立った評価（新しい水質指標による評価）も実施しています。

この新しい水質指標には、河川管理者がこれまで測定してきた項目だけでなく、「川底の感触」や「水のおいしさ」等の“住民との協働”による調査も測定項目として加えています。（詳細は平成24年九州地方一級河川の水質状況（平成25年8月2日九州地方整備局記者発表））

平成24年の五ヶ瀬川水系においては、「泳ぎたいと思う川」として、永代橋（五ヶ瀬川水系小川／延岡市）桑平橋（五ヶ瀬川水系祝子川／延岡市）の2地点でした。

5. 水質事故

平成24年度における五ヶ瀬川水系に関連する水質事故出動回数は、6回発生しています。

なお、事故発生時の対応については、河川管理者と関係機関により構成される「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」を設置しており、発生時においては、速やかに情報の収集、通報、連絡を行うとともに関係機関の協力のもとに、オイルフェンスの設置等の緊急措置を講じることにより、被害を最小限にとどめる体制を取っています。

6. 水質保全に対する取り組み

当事務所では、「五ヶ瀬川水系水質汚濁防止連絡協議会」の関係機関と連携し、水質保全を図るために以下の取り組みを行いました。

- (1) 水質に関する情報交換
 - ・各機関で実施している公共用水域水質測定結果の共有
- (2) 危機管理体制
 - ・河川パトロールの実施
 - ・水質事故対策訓練及び試料採取、分析の実施
- (3) 水質汚濁防止に関する広報活動
 - ・水生生物調査
 - ・河川愛護月間におけるキャンペーン活動の実施
 - ・リバーフェスタのべおかにおける各種広報活動
- (4) 生活排水対策等の実施（流域・市・町）
 - ・生活排水対策の推進
 - ・合併処理浄化槽設置事業の推進
 - ・浄化槽設置者に対する適正使用の指導の推進

7. 水質データ（速報値）の公表

九州地方整備局ホームページの下記のサイトにおいて、延岡河川国道事務所が調査測定する全調査地点（5地点）について、毎月の水質データ（速報値）を公表しています。

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/index.html>

8. ダイオキシン類実態調査

平成24年11月に三輪地点にて水質及び底質中のダイオキシン類（ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）、ポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）及びダイオキシン様塩化ビフェニル（DL-PCB））の調査を実施しました。

①水質調査結果

水質の調査結果は下記に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『水質の環境基準値』1pg-TEQ/Lを超える地点はありませんでした。

②底質調査結果

底質の調査結果は下記に示すとおりであり、『ダイオキシン類対策特別措置法』により定められている『底質の環境基準値』150pg-TEQ/g及び要監視濃度（環境基準の1/2）を超える地点はありませんでした。

（三輪地点）

ダイオキシン類(水質)			ダイオキシン類(底質)		
PCDD+PCDF	DL-PCB	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF	DL-PCB	評価値 (最高値)
pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
0.062	0.0048	0.067	0.20	0.013	0.21

8. 内分泌攪乱化学物質に関する実態調査

動物の生体内に取り込まれた場合、その生体内で営まれる正常なホルモン作用に影響を与える外因性物質（以下「内分泌攪乱化学物質」という。）の疑いがある物質を平成10年より試行的に調査しています。

平成24年は五ヶ瀬川水系では松山橋を調査しました。

内分泌攪乱化学物質として疑いのある物質の調査結果は、下記に示すとおりであり、重調査濃度超過地点はありませんでした。

（松山橋）

SS	4-t-オクチル フェノール	ノニルフェノール	ビスフェノールA	17β-エストラジオール(LC/MS法)	エストロン(LC/MS法)	o, p'-DDT
mg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L
重点調査濃度						
-	0.992	0.608	24.7	0.0015	0.0016	0.0145
1	ND	ND	ND	ND	ND	0.000052

ND：不検出（検出下限未満を示す）

◎水質調査地点位置図

